プログラム

1日目　9月12日（木）

口演会場　小ホール1

9:45 – 9:50　**開会の辞**

9:50 – 11:50　**一般演題　選抜**

オーガナイザー・座長：**伊藤哲哉**（藤田医科大学），**堤内　要**（中部大学）

選抜–1
(P-6)

Dihydropyrimidine dehydrogenase 活性とピリミジン系抗がん剤 5-fluorouracil による副作用発現の関連

前田 康博[1,2]，中島 葉子[3]，三宅 玲香[2]，堀田 祐志[2]，片岡 智哉[4]，木村 和哲[2,4]，伊藤 哲哉[3]

[1]藤田医大・共同利用研究設備サポートセンター，[2]名市大院・薬，[3]藤田医大・小児科，[4]名市大院・医

選抜–2
(P-8)

自動前処理装置「ATLAS-LEXT」を用いたヒト血清からの高等植物由来毒性成分スクリーニング法の構築

谷口 賢[1,2]，石丸 麗子[3]，地中 啓[3]，三木 昭宏[4]，片木 宗弘[4]，土橋 均[2]，石井 晃[2]，宮崎 仁志[1]，財津 桂[2]

[1]名古屋市衛生研究所，[2]名古屋大学大学院医学系研究科 法医生命倫理学，[3]石川県警科捜研，[4]大阪府警科捜研

選抜–3
(P-15)

LC-MS/MS によるステロイドプロファイル測定に関する基礎的検討

近藤 善紀[1,3]，涌井 昌俊[1]，本間 桂子[2]，中川 央充[2]，村田 満[1]

[1]慶大・医，[2]慶大病院・検査科，[3]シノテスト

選抜–4
(P-26)

脂肪酸酸化異常症患者末梢単核細胞を用いた代謝トレーサー研究

重松 陽介[1,2]，湯浅 光織[1]

[1]福井大学医学部小児科，[2]宇治徳洲会病院小児科

選抜–5
(P-59)

***in vivo* マイクロダイアリシス法と PESI/MS/MS を用いたマウス脳内神経伝達物質分析法の構築**

川上 大輔[1,2]，土屋 弥月[1]，村田 匡[2]，財津 桂[1,3]

[1]名古屋大学大学院医学系研究科 法医生命倫理学，[2]株式会社　島津製作所，[3]名古屋大学 高等研究院

選抜–6
(P-68)

MALDI-MSI 分析における導電性粘着フィルムで作製した生体組織切片の有用性について

三枝 大輔[1]，齋藤 律水[1]，川本 孔明[2]，宇留野 晃[1]，可野 邦行[3]，青木 淳賢[3]，山本 雅之[1]，川本 忠文[2]

[1]東北大学東北メディカル・メガバンク機構/大学院医学系研究科，[2]鶴見大学歯学部，[3]東北大学大学院薬学研究科

選抜–7
(P-72)

マトリックスフリーイオン化基板 DIUTHAME の測定プロトコルの検討

大村 孝幸 [1], 小谷 政弘 [1], 田代 晃 [1], 内藤 康秀 [2]
[1]浜松ホトニクス株式会社, [2]光産業創成大学院大学

選抜–8
(P-73)

レーザー脱離イオン化イメージング質量分析における DIUTHAME-IMS / FT-ICR の新しい組み合わせにより、高い質量精度と分解能が維持されます。

Md. Mahmudul Hasan[1], Md. Al Mamun[1], Yasuhide Naito[3], Masahiro Kotani[4], Takayuki Ohmura[4], Shumpei Sato[1], Ariful Islam[1], A S M Waliullah[1], Mitsutoshi Setou [1, 2, 5]
[1]浜松医科大学, [2]浜松医科大学国際マスイメージングセンター, [3]光産業創成大学院, [4]浜松ホトニクス K.K, [5]最先端の医療用フォトニクス教育研究センターシステム分子解剖学

12:00 – 13:00　ランチョンセミナー　共催：株式会社　島津製作所

LS1

質量分析計を用いた免疫抑制剤の血中濃度測定
～LC-MS/MS 用免疫抑制剤分析キット「DOSIMMUNE（ﾄﾞｽﾞｨﾐｭｰﾝ）」のご紹介～

川上 大輔
株式会社 島津製作所

13:00 – 13:40　社員総会（ウインクあいち 903）
13:30 – 14:30　ポスターセッション 1　奇数番号（小ホール２）
13:40 – 14:10　新理事会（ウインクあいち 903）

14:40 – 15:10　会員集会

15:10 – 17:10　シンポジウム 1

マルチオミクス／トランスオミクス－自動化の取り組みと今後

オーガナイザー・座長：**飯田 順子**（島津製作所），**柚木 克之**（理化学研究所）

S1–1　シンポジウム企画の意図

飯田 順子 [1,2]
[1]（株）島津製作所分析計測事業部　ライフサイエンス事業統括部, [2] 大阪大学大学院工学研究科分析イノベーション共同研究講座

S1–2　多階層オミクスデータ解析の自動化に向けて

柚木 克之 [1,2,3]
[1] 理化学研究所生命医科学研究センター, [2] 慶應義塾大学先端生命科学研究所, [3] 東京大学大学院理学系研究科

S1–3　メタボロームはなぜこれほど再現性がないのか?

杉本 昌弘 [1,2,3]
[1] 東京医科大学低侵襲医療開発総合センター, [2] 慶應義塾大学先端生命科学研究所, [3] 筑波大学プレシジョン・メディスン開発研究センター

S1–4　クロマトグラムデータセットからのロバストなピーク検出

植松 真章 [1,2]，北 芳博 [1,3]，清水 孝雄 [1,2,4]
[1] 東京大学大学院医学系研究科リピドミクス社会連携講座, [2] 国立国際医療研究センター研究所脂質シグナリングプロジェクト, [3] 東京大学大学院医学系研究科ライフサイエンス研究機器支援室, [4] 微生物科学研究所

S1–5　前処理、測定、データ自動可視化を含むパッケージ化

飯田 順子 [1,2]
[1]（株）島津製作所分析計測事業部　ライフサイエンス事業統括部, [2] 大阪大学大学院工学研究科分析イノベーション共同研究講座

S1–6　漢方システムバイオロジーの構築：漢方薬の成分代謝・生体作用の統合解析に向けて

西 明紀 [1]，大渕 勝也 [1]，串田 浩孝 [1]，下堀 知香 [1]，松本 隆志 [1]，山本 雅浩 [1]，
黒木 春郎 [2]，鍋島 茂樹 [3]，谷内江 綾子 [4]，松岡 由希子 [4]，北野 宏明 [4]
[1] 東北大学東北メディカル・メガバンク機構/大学院医学系研究科, [2] 鶴見大学歯学部, [3] 東北大学大学院薬学研究科

17:10 – 18:10　特別講演

後援：第 24 回日本医学会総会記念医学振興基金

座長：**惠 淑萍**（北海道大学）

Method Development for Single-Cell Metabolic Analysis

Prof. Xinrong Zhang　（張　新栄　教授）
Department of Chemistry, Tsinghua University, Beijing 100084, China

2日目　9月13日（金）

口演会場　小ホール1

9:00 – 11:00　**シンポジウム2**

アンビエントイオン化質量分析による生体分析の最先端

オーガナイザー・座長：**財津 桂**（名古屋大学），**関本 奏子**（横浜市立大学）

S2–1　**シンポジウム企画の意図**

財津 桂[1, 2]、関本 奏子[3]

[1] 名古屋大学高等研究院, [2] 名古屋大学大学院医学系研究科,
[3] 横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科

S2–2　**皮膚成分の秒速 MS プロファイリング法の開発と応用**

本山 晃、木原 圭史

資生堂グローバルイノベーションセンター

S2–3　**LDTD 法を用いた血中脂溶性ビタミンの高速一斉分析系構築**

小倉 泰郎、Mikael Levi

島津製作所

S2–4　**iKnife サンプリング機能搭載 REIMS 研究システムによる分子プロファイリング**

寺崎　真樹

日本ウォーターズ株式会社

S2–5　**Probe electrospray ionization/tandem mass spectrometry (PESI/MS/MS) を用いた intact metabolome analysis および in vivo リアルタイム分析法の構築**

財津 桂[1, 2]、林 由美[1,2]、村田 匡[3]

[1] 名古屋大学 高等研究院 in vivo リアルタイム・オミクス研究室, [2] 名古屋大学大学院医学医系研究科,
[3] 島津製作所

11:10 – 12:00　テクノロジーフォーラム

オーガナイザー・座長：**近藤 文雄**（中部大学），**前田 康博**（藤田医科大学）

TF-1　**臨床検体のハイスループットプロテオミクスを可能にするナノ HPLC EVOSEP ONE、及び、臨床検体をダイレクトに MS 解析できる新規高感度大気圧イオン源「SICRIT」のご紹介**
板東 泰彦
エーエムアール株式会社

TF-2　**臨床検査における質量分析装置の役割**
須賀 香屋子
サイエックス　アプリケーション

TF-3　**分析の信頼性確保に不可欠な認証標準物質**
松島 江里香
シグマ アルドリッチ ジャパン合同会社

TF-4　**島津製作所 分析装置新技術のご紹介**
渡辺 淳
株式会社　島津製作所

TF-5　**安定同位体標識試薬のご紹介**
大陽日酸株式会社

TF-6　**臨床研究分野におけるウォーターズの最新質量分析技術**
寺崎 真樹
日本ウォーターズ株式会社

TF-7　**自動サンプル前処理システム Biotage® Extrahera GLP ソフトウェアのご紹介**
岡部 芙美子
バイオタージ・ジャパン株式会社

12:00 – 13:00　特別セミナー　（ランチョン）

後援：第 24 回日本医学会総会記念医学振興基金

医用質量分析入門
—医用質量分析認定士取得を目指してー

講師　中西豊文（大阪医科大学）

13:10 – 14:10　ポスターセッション２　偶数番号（小ホール２）

14:20 – 16:20　シンポジウム３

アンビエントイオン化質量分析による生体分析の最先端

オーガナイザー・座長：**井之上 浩一**（立命館大学），**水野　初**（静岡県立大学）

S3-1　**イミダゾール生成反応に基づく脂質過酸化アルデヒドの誘導体化 LC-MS/MS 定量法の開発**

岸川直哉[1]，Mahmoud Hamed El-Maghrabey[1,2]，黒田直敬[1]
[1]長崎大学大学院医歯薬学総合研究科，[2]マンスーラ大学

S3-2　**誘導体化 LC-MS/MS を用いたディープラーニング搭載ワイドターゲットメタボロミクスの展開**

六車 宜央[1]，赤津 裕康[2]，井之上 浩一[1]
[1]立命館大学大学院，[2]名古屋市立大学医

S3-3　**誘導体化と質量分析による高感度異性体分離分析法の開発**

水野　初，杉山栄二，豊岡利正，轟木堅一郎
静岡県立大学　薬学部

S3-4　**誘導体化 LC-MS 法による低分子代謝物分析の現在**

高山 卓大[1]，柳 浩由紀[1]，水野 初[2]，豊岡 利正[2]，井之上 浩一[3]，赤津 裕康[4]，轟木 堅一郎[2]
[1]小野薬品工業，[2]静岡県大薬，[3]立命館大薬，[4]名市大医

16:20　閉会の辞

ポスター会場　小ホール２

ポスター展示期間　９月 12 日（木）9:00 – 13 日（金）14:10

ポスターセッション１　奇数番号　９月 12 日（木）13:30 – 14:30
ポスターセッション２　偶数番号　９月 13 日（金）13:10 – 14:10

P-1　採血後血液処理が血中代謝物レベルに与える影響

西海 信[1], 小林 隆[1], 吉田 優[1,2,3]
[1]神戸大学医学研究科内科学講座消化器内科学分野, [2]神戸大学医学研究科内科系講座病因病態解析学分野, [3]AMED-CREST

P-2　ヒト CYP 分子種によるカチノン系化合物の代謝プロファイル解析

山下 琢矢, 亀井 捷, 松本 周, 安木 彗玲菜, 湯淺 聖望, 初島 智弘, 糟谷 史代
神戸学院大学薬学部

P-3　Dried blood spot を用いた 6β-hydroxycortisol/cortisol 比による CYP3A 活性評価法の確立

平野 良平, 古田 隆, 横川 彰朋, 柴崎 浩美, 降幡 知巳
東京薬科大学薬学部個別化薬物治療学教室

P-4　ヒト肝細胞による合成カンナビノイド BB-22 の代謝

南方 かよ子[1], 鈴木 雅子[2], 北本 卓也[2], 野澤 秀樹[1], 山岸 格[1], 長谷川 弘太郎[1], 鈴木 修[1], 渡部 加奈子[1]
[1]浜松医科大学法医学, [2]浜松医科大学 先進機器共用推進部

P-5　イミプラミンおよびデシプラミンの化学修飾

林 英樹[1], 小川 匡之[2], 妹尾 洋[2], 石垣 友三[1], 小田 三都郎[1]
[1]名市工研, [2]愛知医大・医

P-6　Dihydropyrimidine dehydrogenase 活性とピリミジン系抗がん剤 5-fluorouracil による副作用発現の関連

前田 康博[1,2], 中島 葉子[3], 三宅 玲香[2], 堀田 祐志[2], 片岡 智哉[4], 木村 和哲[2,4], 伊藤 哲哉[3]
[1]藤田医大・共同利用研究設備サポートセンター, [2]名市大院・薬, [3]藤田医大・小児科, [4]名市大院・医

P-7　LC-MS/MS を用いた全血中糖尿病治療薬の同時定量法

鈴木 隆佳[1,2], 小川 匡之[1,2], 上山 純[3], 岩井 雅枝[1,2], 近藤 文雄[1,4], 妹尾 洋[1,2]
[1]愛知医大・医・法医学, [2]愛知医大・薬毒物分析センター, [3]名古屋大学・院・医・病態解析学, [4]中部大・生命健康科学・生命医化学

P-8 自動前処理装置「ATLAS-LEXT」を用いたヒト血清からの高等植物由来毒性成分スクリーニング法の構築

谷口 賢[1,2], 石丸 麗子[3], 地中 啓[3], 三木 昭宏[4], 片木 宗弘[4], 土橋 均[2], 石井 晃[2], 宮崎 仁志[1], 財津 桂[2]
[1]名古屋市衛生研究所, [2]名古屋大学大学院医学系研究科 法医生命倫理学, [3]石川県警科捜研,
[4]大阪府警科捜研

P-9 LC-MS/MS を用いたヒト血清中リコリンおよびガランタミンの定量分析法

佐々木 千寿子[1], 吉村 久仁子[2], 稲垣 泰斗[2], 村上 千香子[1], 入江 渉[1], 寺田 賢[3], 篠塚 達雄[3], 浅利 靖[2], 佐藤 文子[1]
[1]北里大学医学部法医学, [2]北里大学医学部救命救急医学, [3]横浜薬科大学病態生理学

P-10 フッ化水素酸による急性中毒死剖検例の分析

前橋 恭子, 児玉 早, 坂本 圭菜, 室伏 美希, 岸 くみ子, 岩楯 公晴
慈恵医大・法医

P-11 尿中薬物スクリーニングテストでコカインが陽性になった 1 症例

三上 昌章, 清宮 朋子, 嶋村 文彦
千葉県救急医療センター　検査部検査科

P-12 LC-MS/MS による血清コルチゾル・テストステロン・アンドロステンジオン・デヒドロエピアンドロステロンサルフェート（DHEA-S）の同時定量

風見 隆浩[1], 佐藤 守[2], 吉田 俊彦[1], 西村 基[1], 松下 一之[1], 野村 文夫[2]
[1]千葉大学　医学部附属病院　検査部, [2]千葉大学　医学部附属病院　マススペクトロメトリー検査診断学

P-13 臨床検査試料としての爪の有用性評価: 性差、年齢及び指ごとの爪中テストステロン含量差の解析

小川 祥二郎, 板垣 美咲, 麻生 早希, 東 達也
東京理大・薬

P-14 MALDI-TOF/MS によるステロール化合物の簡易分析法の基礎的検討

五十嵐 一雄[1,2], 中西 豊文[3], 巽 信二[2]
[1]一般社団法人医薬分析協会, [2]近畿大学医学部, [3]大阪医科大学研究支援センター

P-15 LC-MS/MS によるステロイドプロファイル測定に関する基礎的検討

近藤 善紀[1,3], 涌井 昌俊[1], 本間 桂子[2], 中川 央充[2], 村田 満[1]
[1]慶大・医, [2]慶大病院・検査科, [3]シノテスト

P-16 MALDI Biotyper を用いた血液培養陽性ボトル培養液からの直接菌種同定の有益性

里吉 和也[1], 下口 和雄[1], 荒木 秀夫[1], 佐藤 晃[2], 青木 信子[2], 西山 宏幸[2], 中山 智祥[1,2,3]
[1]日本大学病院 臨床検査部, [2]日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部, [3]日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野

P-17 塩化アンモニウム溶血剤とメンブレンフィルター を用いた MALDI-TOF MS による血液培養ボトルからの細菌迅速同定前処理法の開発

土田 祥央[1], 村田 正太[2], 宮部 安規子[2], 佐藤 守[1], 滝脇 正貴[1], 松下 一之[2,3], 野村 文夫[1,3]
[1]千葉大学医学部附属病院 MS 検査診断学, [2]千葉大学医学部附属病院検査部, [3]千葉大学医学部附属病院遺伝子診療部

P-18 MALDI-TOF MS 法による感染症起因菌迅速同定に関する最近 1 年間の成果

柴田 有理子[1]、舌 智香子[1]、中野 雅巳[1]、野尻 敬子[1]、南 健太[1]、大西 舞[1]、中西 豊文[2]
[1]中央検査部 大阪医科大学病院、[2]研究支援センター 大阪医科大学

P-19 新生児マススクリーニング対象の有機酸代謝異常症の鑑別を目的とした LC-MS による有機酸分析法の検討

植柳 泰, 門司 宜久, 松本 信也, 瀬戸山 大樹, 堀田 多恵子, 康 東天
九州大学病院 検査部

P-20 GCMS 分析による尿中 2-hydroxyglutarate 上昇の病態検討

張 春花[1], 金 明姫[1], 阮 宗海[1], 王 旭陽[1], 宋 傑[1], 大阪 康宏[2], 笹川 寿之[2]
[1]ミルスインターナショナル研究開発部, [2]金沢医科大学産科婦人科学講座

P-21 尿代謝プロフィル解析で発見した中国人メバロン酸血症 1 例

金 明姫, 張 春花
ミルスインターナショナル研究開発部

P-22 GC/MS 分析による α－ケトアジピン酸尿症と α－アミノアジピン酸尿症の尿代謝プロファル特徴検討

阮 宗海, 張 春花, 王 旭陽, 金 明姫, 唐 剣慈, 万 婷婷, 宋 傑, 王 恬
ミルスインターナショナル

P-23 乾燥濾紙血と LC-MS/MS を利用したレッシュ・ナイハン症候群における HPRT 活性測定法の確立

三宅 玲香[1], 前田 康博[2,3], 中島 葉子[4], 伊藤 哲哉[4], 堀田 祐志[3], 片岡 智哉[5], 木村 和哲[1,3,5]
[1]名市大・薬, [2]藤田医大・共同利用研究設備サポートセンター, [3]名市大院・薬, [4]藤田医大・小児科, [5]名市大院・医

P-24 LC-MS/MS を用いたライソゾーム病原因酵素の同時測定法の検討

真嶋 隆一, 大平 麻里, 奥山 虎之
国立成育医療研究センター

P-25 グローバルメタボロミクスによるニーマンピック病 C 型患者血液に特徴的なピーク探索

前川 正充[1,2], 岩堀 杏南[2], 金光 祥臣[1], 三枝 大輔[1,3], 山口 浩明[1,2,4], 眞野 成康[1,2]
[1]東北大病・薬, [2]東北大・薬, [3]東北大・東北メディカルメガバンク, [4]山形大病・薬

P-26 脂肪酸酸化異常症患者末梢単核細胞を用いた代謝トレーサー研究

重松 陽介[1,2], 湯浅 光織[1]
[1]福井大学医学部小児科, [2]宇治徳洲会病院小児科

P-27 安定同位体培養法を用いた Escherichia coli 由来 ^{13}C 置換一次代謝物の作製

別府 滉大[1], 岡林 瑞希[1], 六車 宜央[1], 原田 修一[2], 井之上 浩一[1]
[1]立命館大学・薬, [2]林純薬工業株式会社

P-28 安定同位体標識内部標準を用いたヒト血清試料のアミノ酸定量分析手順の評価

池田 明夏里[1], 寺内 勉[1], 横山 順[1], 杉浦 悠毅[2]
[1]大陽日酸株式会社, [2]慶応義塾大学

P-29 クロマトグラムデータセットからのロバストなピーク検出に向けたソフトウェア開発

植松 真章[1,2], 北 芳博[1,3], 清水 孝雄[1,2,4]
[1]東大・院・医 リピドミクス社会連携講座, [2]国立国際医療研究センター研究所 脂質シグナリングプロジェクト, [3]東大・院・医 ライフサイエンス研究機器支援室, [4]微生物科学研究所

P-30 誘導体化 LC-MS 法による低分子代謝物分析の現在

高山 卓大[1], 柳 浩由紀[1], 水野 初[2], 豊岡 利正[2], 井之上 浩一[3], 赤津 裕康[4,5], 轟木 堅一郎[2]
[1]小野薬品工業株式会社, [2]静岡県大薬, [3]立命館大薬, [4]名市大医, [5]福祉村病院

P-31 認知症種別の早期鑑別診断を目指した多変量解析を用いる新規バイオマーカー探索

六車 宜央[1], 赤津 裕康[2,3], 井之上 浩一[1]
[1]立命館大院薬, [2]名古屋市立大学医, [3]福祉村病院

P-32 質量分析で明らかになる近赤外光線免疫療法のメカニズム

佐藤 和秀[1,3,2,4], 小川 美香子[5], 西村 雅之[6], 粉川 良平[6], 長谷川 好規[2], 小林 久隆[4]
[1]名古屋大学高等研究院, [2]名古屋大・医・呼吸器内科, [3]最先端イメージング分析センター／医工連携ユニット, [4]米国立がんセンター, [5]北海道大学・薬, [6]島津製作所

P-33 重水素化エクトインを内部標準に用いたエクトインの LC-MS/MS による定量分析

佐藤 龍一[1], 佐々木 雅史[1], 堤内 要[1], 金政 真[1], 岡 尚男[2]
[1]中部大・応用生物, [2]金城学院大・消費生活科学研究所

P-34 カルボニルストレス誘導筋細胞内代謝変化の GC-MS による評価

佐藤 恵美子[1,2], 等々力 崇太[1], 山本 多恵[2], 宮崎 真理子[2], 森 建文[3], 伊藤 貞嘉[2], 佐藤 博[1,2], 髙橋 信行[1,2]
[1]東北大院・薬・臨床薬学, [2]東北大院・医・腎高内, [3]東北医科薬科・腎内

P-35 LC-MS/MS 法による乳酸菌ウオヌマ株の胆汁酸合成系に対する促進効果の評価

中川 沙織[1], 清水（太田） 美穂[1], 不破 史子[1], 西脇 俊和[2], 相原 浩太郎[2], 佐藤 眞治[1]
[1]新潟薬科大学, [2]新潟県農総研食研セ

P-36 Microcystis ラン藻由来の揮発性有機化合物の分析：SPME GC/MS でのみ分析された β-cyclocitral の産生機構

山下 竜司[1], 兼井 啓介[2], 辻 清美[4], 冨田 浩嗣[3], ○原田 健一[1,2]
[1]名城大院・総術, [2]名城大・薬, [3]愛知衛研, [4]神奈川衛研

P-37 LC-Q-TOFMS を用いた腸内細菌代謝物のノンターゲットリピドミクス

岡橋 伸幸[1,2], 安田 柊[1], 上田 政宏[1], 津川 裕司[1], 池田 和貴[3], 有田 誠[1,4,5]
[1]理研・生命医科学研究センター, [2]阪大・情報, [3]かずさ DNA 研, [4]横浜市立大・生命医科学, [5]慶大・薬

P-38 尿中グリセロリン脂質の半自動型解析システムの構築

中嶋 和紀[1], 袴田 知也[2], 堀 秀生[3], 釘田 雅則[1], 松下 祥子[4], 伊藤 辰将[4], 高橋 和男[4,5], 坪井 直毅[4], 長尾 静子[1], 湯澤 由紀夫[4]
[1]藤田医科大・研究支援, [2]藤田医科大院保健学・病態制御, [3]藤田医科大・臨床工学科, [4]藤田医科大・医・腎臓内科学, [5]藤田医科大・医・解剖学 II

P-39 A rapid flow-injection high resolution / accurate mass method for the simultaneous detection of diverse lipid species in human serum

Dayan Goodenowe[1], Yanqiu Jiang[1], Vijitha Senananake[1], Yasuyo Yamazaki[1]
[1] Prodrome Sciences Inc. Saskatoon, Canada

P-40 質量分析による生細胞中の単一脂肪滴の分析

惠 淑萍[1], 趙 瑤瑤[1], 陳 震[1], 呉 玥[1], 高 紫君[1], 張 新栄[2], 千葉 仁志[3]
[1]北大・保健, [2]清華大学化学系, [3]札幌保健医療大学

P-41 鉛誘導した HepG2 細胞によけるプラズマローゲンの保護作用

陳 震[1], Wu Yue[1], Darwish Wageh[1], 寺田 航[1], 千葉 仁志[2], 惠 淑萍[1]
[1]北大・保健, [2]札幌保健医療大学・栄養

P-42 キラルカラムを用いた LC-MS 一斉分析系によるマウス脳スフィンゴ糖脂質の解析

藤原 優子, 濱 弘太郎, 横山 和明
帝京大・薬

P-43 **４種の PAH 混合物暴露下の HepG2 細胞における脂質代謝調節不全**

高 紫君 [1, 2]
[1] 北海道大学保健科学研究院, [2] 札幌保健医療大学

P-44 **髄液中リゾホスファチジン酸、リゾホスファチジルコリンは客観的疼痛マーカーである**

蔵野 信 [1], 住谷 昌彦 [1], 坂井 英里 [1], 可野 邦行 [2], 青木 淳賢 [2], 矢冨 裕 [1]
[1] 東大・医, [2] 東北大・薬

P-45 **高炭水化物食由来脂肪肝マウスの肝臓中 cardiolipin 及び monolysocardiolipin の組成解析**

櫻井 俊宏 [1], 陳 震 [1], 早坂 孝宏 [2], 千葉 仁志 [3], 惠 淑萍 [1]
[1] 北海道大学 大学院 保健科学研究院, [2] 北海道大学 医学研究院外科系部門 外科学分野, [3] 札幌保健医療大学

P-46 **LC-MS/MS を用いたヒト髄液中スフィンゴシン 1-リン酸（S1P）の測定系の確立と髄膜癌腫症におけるスフィンゴ脂質の解析**

坂井 英里 [1], 森田 賢史 [1], 蔵野 信 [1, 2], 矢冨 裕 [1, 2]
[1] 東京大学医学部附属病院検査部, [2] 東京大学大学院医学系研究科内科学専攻病態診断医学講座

P-47 **質量分析を用いる肺サーファクタントリン脂質膜に対する環境濃度オゾンの影響に関する研究**

喬 琳 [1], 陳 震 [1], 高田 俊智 [2], 千葉 仁志 [3], 叶 深 [2], 惠 淑萍 [1]
[1] 北海道大学 保健科学研究院, [2] 東北大学　大学院理学研究科, [3] 札幌保健医療大学

P-48 **MALDI-TOF/MS を用いた尿中脂質解析による前立腺がん診断の検討**

中山 憲司 [2, 1], 李 新 [1], 後藤 崇之 [1], 赤松 秀輔 [1], 清水 公治 [3], 小川 修 [1], 井上 貴博 [1]
[1] 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科, [2] 島津テクノリサーチ 臨床研究開発支援センター, [3] 京大病院 先端医療機器開発･臨床研究センター

P-49 **酸化リン脂質受容体 MrgB5 が認識する酸化リン脂質の構造解析**

吉田 美沙紀 [1], 岸 貴之 [1], 川名 裕己 [1, 2], 可野 邦行 [1, 2], 三枝 大輔 [2, 3, 4], 仲川 清隆 [5], 青木 淳賢 [1, 2]
[1] 東北大院・薬, [2] AMED-LEAP, [3] 東北メディカル・メガバンク機構, [4] 東北大医, [5] 東北大院・農

P-50 **効率的かつ再現性のよい LC システム Evosep One のプロテオミクス測定での評価**

加納 圭子 [1], 碓井 史彦 [2], 板東 泰彦 [2], 上野 光正 [2], 初田 一哉 3, 桑田 啓子 [1]
[1] 名古屋大・ITbM, [2] エーエムアール株式会社, [3] 株式会社ウインクス

P-51 **LC-MS/MS によるヒト血清中アポリポプロテイン E アイソフォーム定量分析法開発**

星野 雅輝, 新田 真一郎, 若林 弘樹, 上田 哲也
株式会社ＬＳＩメディエンス

P-52 FFPE 組織を用いたプロテオミクスによる脂肪肉腫診断マーカーの探索

青山 智志[1,2], 高澤 啓[2], 小野 祐輔[2], 長谷川 匡[1], 小山内 誠[2]
[1]札幌医科大学附属病院病理部, [2]札幌医科大学医学部病理学第二講座

P-53 血清エクソソームのプロテオミクスによる新規胆管癌診断マーカーの同定

吉田 幸布[1], 高野 重紹[2], 吉富 秀幸[2], 小寺 義男[3], 朝長 毅[4], 大塚 将之[2], 曽川 一幸[1]
[1]麻布大・生命環境, [2]千葉大・医, [3]北里大・理, [4]医薬基盤健康栄養研究所

P-54 ラベルフリーシングルショットガン解析によるヒト涙液プロテオームの比較

李 暁鵬[1], 山田 美穂[2], 山中 秀徳[3], 坂牧 寛[3], 藤城 雅也[1], 長谷川 智華[1,4], 恩田 秀寿[1], 熊澤 武志[1,5], 佐藤 啓造[1], 松山 高明[1]
[1]昭和大・医・法医学, [2]昭和大・医・眼科学, [3]化学物質評価研究機構, [4]東邦大・医・法医学, [5]聖隷大

P-55 血清エクソソームのプロテオミクスによる新規膵臓癌診断マーカーの同定

藤代 綾子[1], 高野 重紹[2], 吉富 秀幸[2], 小寺 義男[3], 朝長 毅[4], 大塚 将之[2], 曽川 一幸[1]
[1]麻布大・生命環境, [2]千葉大・医, [3]北里大・理, [4]医薬基盤健康栄養研究所

P-56 プロテオーム解析を用いたストレプトゾトシン誘発糖尿病モデルラットの角膜における創傷治癒遅延機構の解析

山本 哲志, 蛭子 小春, 三田村 邦子, 長井 紀章, 多賀 淳
近畿大学薬学部

P-57 イムノコンプレキソーム解析法による原発性胆汁性胆管炎患者の血清中免疫複合体解析

相原 希美[1], 大山 要[1], 中村 稔[2], 玉井 慎美[3], 中村 英樹[3], 岸川 直哉[1], 川上 純[3], 塚元 和弘[1], 黒田 直敬[1]
[1]長崎大院・医歯薬, [2]長崎医療センター・臨床研究センター, [3]長崎大病院・リウマチ膠原病内科

P-58 インスリン由来アミロイドーシスの解析

伊藤 喜之[1], 永見 信正[2], 新井 久恵[3], 寺嶋 博[1], 西岡 秀夫[1], 永瀬 晃正[4], 岩屋 啓一[3,4]
[1]日本電子, [2]兵庫県警科捜研, [3]杏雲堂病院, [4]東京医大

P-59 in vivo マイクロダイアリシス法と PESI/MS/MS を用いたマウス脳内神経伝達物質分析法の構築

川上 大輔[1,2], 土屋 弥月[1], 村田 匡[2], 財津 桂[1,3]
[1]名古屋大学大学院医学系研究科 法医生命倫理学, [2]株式会社 島津製作所, [3]名古屋大学 高等研究院

P-60 Survival of motor neuron（SMN）タンパク質の定量

竹内 敦子[1], 都出 千里[1], 西尾 久英[2]
[1]神戸薬科大, [2]神戸学院大・総合リ

P-61 胃がん内視鏡検体の高感度リン酸化プロテオミクスに基づくキナーゼ活性プロファイリング

阿部 雄一[1,2], 平野 秀和[3], 庄司 広和[3], 田口 歩[2], 本田 一文[4], 朴 成和[3], 朝長 毅[1], 足立 淳[1]
[1]医薬基盤健栄研 プロテオーム, [2]愛知がん研 分子診断, [3]国立がん中央病院 消化管内科, [4]国立がん研 早期診断バイオマーカー開発部門

P-62 黄色靭帯肥厚によるタンパク組成変化

長子 晴美[1], 河野 通快[2], 三浦 美樹子[1], 原 伸正[1], 日吉 峰麗[1], 内尾 祐司[2], 土屋 美加子[1]
[1]島根大学・医・生化学, [2]島根大学・医・整形外科学

P-63 ブラックタイガーの新規アレルゲンタンパク質解析

宮谷 千菜津[1], 藤田 雄治[2], 佐藤 守[3], 中野 泰至[2], 下条 直樹[2], 野村 文夫[3], 曽川 一幸[1]
[1]麻布大・生命環境, [2]千葉大・医, [3]千葉大学病院

P-64 肝癌細胞株への新規修飾型D-ドーパクロムトートメラーゼ刺激によるリン酸化プロテオミクスの試み

日吉 峰麗, 長子 晴美, 三浦 美樹子
島根大・医・生化学

P-65 PESI/MS/MS を用いた内因性代謝物 40 成分のリアルタイム・モニタリング法の構築

大原 倫美[1], 深山 雄大[1], 近藤 健太[1], 村田 匠[2], 船津 慎治[2], 土橋 均[1], 石井 晃[1], 緒方 是嗣[2], 財津 桂[1,3]
[1]名古屋大学大学院医学系研究科 法医・生命倫理学, [2]島津製作所, [3]名古屋大学 高等研究院

P-66 自作エミッターチップを用いた DESI-IMS 高感度化の検討

高橋 豊[1,2], 佐藤 駿平[1], Du Chi[1], 堀川 誠[1], 佐藤 智仁[1], 瀬藤 光利[1]
[1]浜松医科大学, [2]株式会社プレッパーズ

P-67 DESI-IMS はヒトの頭蓋内動脈瘤壁の破裂におけるアラキドン酸の関連を明らかにした

Islam Ariful[1], 武田 理々子[2], 佐藤 智仁[1], 栗田 浩樹[3], 瀬藤 光利[1]
[1]浜松医科大学, [2]帝京大学医学部, [3]埼玉医科大学

P-68 MALDI-MSI 分析における導電性粘着フィルムで作製した生体組織切片の有用性について

三枝 大輔[1], 齋藤 律水[1], 川本 孔明[2], 宇留野 晃[1], 可野 邦行[3], 青木 淳賢[3], 山本 雅之[1], 川本 忠文[2]
[1]東北大学東北メディカル・メガバンク機構/大学院医学系研究科, [2]鶴見大学歯学部, [3]東北大学大学院薬学研究科

P-69 DESI-IMS は、ヒト唇の皮膚と比較して、朱色の上皮におけるドコサヘキサエン酸の高い蓄積を明らかにした。

Mamun Md. Al[1], Kahyo Tomoaki[1], Naru Eiji[2], Sakata Osamu[2], Hoshikawa Emi[3], Suzuki Ayako[3], Islam Ariful[1], Sato Shumpei[1], Sato Tomohito[1], Ito Takashi[1], Horikawa Makoto[1], Izumi Kenjii[3], Setou Mitsutoshi[1, 4, 5]

[1]浜松医科大学, [2]コーセー研究所, [3]新潟大学大学院医歯学総合研究科, [4]国際マスイメージングセンター。 浜松, [5]最先端医療フォトニクス教育研究センター浜松市

P-70 医薬品候補化合物のハイスループット・スクリーニングにおける新規イオン化法 DIUTHAME の適用可能性

内藤 康秀 [1], 小谷 政弘 [2], 大村 孝幸 [2]

[1]光産業創成大学院大学, [2]浜松ホトニクス株式会社

P-71 MALDI イメージング質量分析法とショットガンプロテオミクス法を用いたパラフィン包埋腎生検組織の高深度プロテオーム解析

武笠 結天 [1], 梶田 遼 [2], 韮澤 崇 [2], ラヴァン マリオン [3], ジャンポール・ドン・バン・ ファン [3], ブルネバル パトリック [4], 植田 初江 [5], 角田 伸人 [1], 池川 雅哉 [1]

[1]同志社大・生命医科, [2]ブルカー・ジャパン K.K., [3]パリ国立ネッカー小児病院病理部, [4]パリ公立ポンビドゥ・ヨーロッパ病院解剖病理部, [5]国立循環器病研究センター病理部

P-72 マトリックスフリーイオン化基板 DIUTHAME の測定プロトコルの検討

大村 孝幸 [1], 小谷 政弘 [1], 田代 晃 [1], 内藤 康秀 [2]

[1]浜松ホトニクス株式会社, [2]光産業創成大学院大学

P-73 レーザー脱離イオン化イメージング質量分析における DIUTHAME-IMS / FT-ICR の新しい組み合わせにより、高い質量精度と分解能が維持されます。

Md. Mahmudul Hasan[1], Mamun Md. Al[1], Naito Yasuhide[3], Kotani Masahiro[4], Ohmura Takayuki[4], Sato Shumpei[1], Islam Ariful[1], Waliullah A S M[1], Setou Mitsutoshi[1, 2, 5]

[1]浜松医科大学, [2]浜松医科大学国際マスイメージングセンター, [3]光産業創成大学院, [4]浜松ホトニクス K.K, [5]最先端の医療用フォトニクス教育研究センターシステム分子解剖学

P-74 質量顕微鏡法により明らかとなったラウリル硫酸ナトリウムによる皮膚表面のスフィンゴミエリン（d18:0/24:0）の減少

衞藤 史博 [1, 2], 齋藤 祐介 [1], 武井 史郎 [3], 矢尾 育子 [1, 2], 瀬藤 光利 [1]

[1]浜松医科大, [2]関西学院大・理工, [3]中部大・応用生物

P-75 DPH を用いたリゾリン脂質イメージング解析

岩間 大河 [1], 可野 邦行 [1, 4], 三枝 大輔 [2, 3, 4], 青木 淳賢 [1, 4]

[1]東北大院薬・分子細胞生化学, [2]東北メディカルメガバンク機構, [3]東北大医, [4]AMED-LEAP

P-77　全身イメージング質量分析法を用いたマウス母乳成分の消化・吸収・代謝プロセスの可視化

小関 将人[1], 辻 雄大[1], 山本 卓志[2], 山口 真一[2], 藤分 秀司[2], 中邨 智之[3], 角田 伸人[1], 谷 史人[4], 池川 雅哉[1]
同志社大・生命医科, [2]島津製作所, [3]関西医科大・薬理, [4]京都大・農

P-79　イメージング質量分析法を用いたメダカ胆汁酸の網羅的解析

野島 嵩文[1], 辻 雄大[2], 山口 真一[3], 上野 智弘[4], 中邨 智之[5], 池川 雅哉[2], 渡辺 好章[1]
[1]同志社大学超音波医科学研究センター, [2]同志社大学大学院生命医科学研究科, [3]島津製作所, [4]京都大学医学部人間健康学科, [5]関西医科大学薬理学講座

P-81　イメージング質量分析法を用いた薬理量リチウム(Li)の脳内分布の解析

安井 悠生[1], 山本 康太[2], 亀山 大樹[1], 角田 伸人[1], 平田 岳史[2], 池川 雅哉[1]
[1]同志社大学大学院生命医科学研究科医生命機能研究室, [2]東京大学大学院理学系研究科最先端計測化学研究室